

高知大学学術研究報告投稿の手引

(令和8年5月26日改定)

1 投稿

高知大学学術研究報告の投稿にあたっては、「高知大学学術研究報告編集・発行その他に関する手続」及びこの「手引」によるものとする。

2 原稿

原稿は完全原稿とし、その電子媒体と発行願（「高知大学学術研究報告編集・発行その他に関する手続」第3条第1項に定めた書類）を添えて編集委員に提出するものとする。

原稿はWord(指定の書式)を使って作成し(本文の文字の大きさは9ポイント)、A4判の用紙を用い、横書きの場合は横44字、縦42行に、縦書きの場合は縦32字、横27行にする。余白は上24ミリ、下16ミリ、左右20ミリにする。

社会科学、自然科学、農学及び医学・看護学は横書原稿用紙を、人文科学は横書又は縦書原稿用紙を用い、それぞれ左上あるいは右上から始める。

横書き原稿用紙は左上、縦書き原稿は右上から始める。原稿にはページ数を記入する。横書の場合、読点は(、)、句点は(。)とし、和文の縦書の場合はそれぞれ(、)、(。)とする。

3 表題、著者名、所属

- 1) 原稿1枚目に表題、著者名及び所属(大学名、学部等)を記す。文字の大きさは、表題は14ポイント、サブタイトル・著者名は11ポイント、所属は9ポイントとする。書体は、和文の場合はMS明朝、欧文の場合はTimes New Romanとする。
- 2) 表題は冒頭中央に書き、末尾にピリオドをつけない。サブタイトルを必要とする場合は次の行に、前後にダッシュを付して、記す。
- 3) 欧文表題は、第1語、名詞、形容詞、副詞、動詞の頭文字はキャピタルとする。
- 4) 著者名は表題から1行あけて記す。ローマ字の場合は、名・姓の順とし、名・姓の頭文字のみをキャピタルとし、後はスモールレターとする。
- 5) 共著のときは、和文ならばナカグロ「・」で連ね、欧文ならばandで連ねる。3名以上の場合はコンマとandで連ねる。
- 6) 所属は、和文ならばローマン体(立体)で大学名、学系・部門名等を書き、欧文ならばイタリック体(斜体)で記す。

共著で各著者の所属が異なる場合には、それぞれの著者名の右肩に番号「¹」、「²」などを付け、所属名の左肩に同じ番号を入れ、所属ごとに改行する。右肩及び左肩に付ける番号はローマン体とする。英語名の所属はイタリック体で「*Chair of ……*」・「*Laboratory of ……*」・「*Department of ……*」及び「*Faculty of ……*」とする。

「*Lab.*」・「*Dept.*」・「*Fac.*」のように略さない。

4 英文要約

- 1) 和文の場合も、欧文の場合も、英文の要約を付ける。
- 2) 要約は原稿 1 枚目下に記す。(1 枚目で終了しない場合 2 枚目へ)
- 3) 文字の大きさは 9 ポイントとし、書体は Times New Roman とする。
- 4) 見だしはゴシックで **Abstract:** とする。
- 5) 語数はダブルスペースで 20 行以内とする。

5 欄外タイトル(running title、(各ページ上部に表示する)欄外見出し、柱)及びキーワード

- 1) 欄外タイトル(日本語の場合 20 字以内、英語の場合は 10 語以内)を示す。
- 2) 論文の内容を代表するキーワードを和文又は欧文ともに 3～5 語示す。語間は「,」で区切る。
- 3) キーワードの文字の大きさは 9 ポイントとし、書体は、和文の場合は MS 明朝、欧文の場合は Times New Roman とする。

[例] キーワード: フザリウム菌, 厚膜胞子, 腐生生存。

Keywords: *Fusarium oxysporum*, Chlamydo-spore, Saprophytic survival.

6 本文

- 1) 本文は原稿 2 枚目(ないし 3 枚目)以下に記す。
- 2) 人文科学系以外の論文においては、本文は原則として、緒言(はじめに)、(実験)材料及び方法、結果、考察、の順序に記載するものとする。ただし、結果と考察をいっしょにすることも可とする。
- 3) 和文の場合
 - ① 段落の始まりは 1 コマあけて書き始める。
 - ② 句読点はコンマ(,)と句点(.)とする。
 - ③ 句読点、カッコ等は全角で書く。
 - ④ 欧文文字及びアラビア数字は半角で書く。
 - ⑤ 外国の固有名詞は原則としてカタカナで表記し、特に明示する必要がある場合を除いて欧文文字を用いない。
 - ⑥ 文字の大きさは 9 ポイントとし、書体は MS 明朝とする。
- 4) 欧文の場合
 - ① 段落の始まりは 3 字あけてタイプをうちはじめる。コンマ、セミコロン、コロンなどの文中の読点の後には 1 字分をあげ、ピリオド、疑問符、感嘆符などの文尾の句点の後には 2 字分あける。
 - ② 特別の書体を使用する場合は、文書作成ソフトで明確になるようにする。
 - ③ 文字の大きさは 9 ポイントとし、書体は Times New Roman とする。
- 5) 数式
 - ① 数式の上下にはスペースをとる。
 - ② 文章中の簡単な分数式には/を用いる。
- 6) 生物名、化学名
 - ① 和文の場合、原則として、和名は漢字又はカタカナ、学名はイタリックで入れる。本文中に最初

に出てくる学名はフルネームとする。分類その他記載を主とする論文では、上記にかかわらず慣行に従う。欧文の場合には小文字で書き、俗名の次にコンマで切って学名を入れ、ふたたびコンマで切る。

② 化合物や元素は、原則として記号ではなく、名称で示す。

7) 計量単位

計量単位は、原則として国際単位系 (SI units) を用いることとする (別表例示)。

8) 人 名

自然科学, 農学, 医学・看護学は, 人名については原則として次のとおりとする。

本文中の人名は姓のみとし, 名と敬称を省略する。欧名のときも姓だけを記入し, 頭文字をキャピタル, 後はスモールレターとする。

7 その他

1) 注

① 注は原則として本文の最後 (文献の前) にまとめて示すものとする。

② 注の見出しは, 本文該当個所の後ろに, () を付し, その中に(注1)(注2)のごとくアラビア数字を順番に記入する。

③ 特に脚注を必要とする場合は, 本文該当個所の右肩に *) を付し, 本文中そのすぐ下に, 上下を横線ではさんで注を記入する。その冒頭に *) を付し, その左欄外に脚注と朱書する。

④ 文字の大きさは9ポイントとし, 書体は, 和文の場合はMS明朝, 欧文の場合はTimes New Romanとする。

2) 文 献

① 引用文献の指示は, 原則として本文該当箇所の右肩に) を付しその左にアラビア数字で記入する。

[例] 佐藤^{2, 3)}, MARTIN⁶⁻⁸⁾

② 文献は一括して末尾の文献欄に番号順に列記する。

③ 記載の形式は, 次のとおりとする。

A. 定期刊行物の場合

番号), 著者名, 表題, 雑誌名, 巻 (号), 最初ページ-最後ページ(西暦年号)雑誌名の略記は慣行に従い, 欧文誌名はイタリック, 巻数はゴシックとする。

著者名は頭文字のみをキャピタルとする。連名の場合には和名では「・」, 欧名では「, 」及び「and」でつなぐ。

ページ数は通巻ページ数を書くが, これの無い場合は, 巻数の次に「No.3」のように号数を入れ, その号についてのページ数を示す。

B. 単行本の場合

番号), 著者名, 書名, 版次, 引用ページ, 出版社名, 出版地 (西暦年号)引用ページは p. 129 のようにし, 総ページ数を示す 129pp. との混同をさける。

- ④ 同じ文献を複数回引用する場合、引用箇所が同一項である場合のみ1つにまとめて記載することも可とする。

3) 表, 図, 写真

- ① 表, 図, 写真は白黒, カラーとも可とする。
- ② 図及び写真にはそれぞれ, 欧文図表の場合は「Fig.1.」・「Table 1.」, 和文図表の場合は「第1図」・「第1表」のように番号を付し, 本文中に引用するときにもこれを用いる。
- ③ それぞれの表, 図, 写真には表題をつける。欧文表題は普通字(ローマ体)で, 第1語及び固有名詞の頭文字のみをキャピタルとし, 図・写真では末尾に「.」をつけ, 表は「.」を付けない。
- ④ 図及び写真には, 必要に応じ簡単な説明文をつけることとする。
- ⑤ 表, 図, 写真は本文中の適切な場所に, 番号, 表題, 説明文とともに挿入する。

4) 原稿の枚数等の制限

和文, 欧文ともに15ページを超えないものとし, 1人あたりの投稿数は3編(単, 共著合わせて)までとする。

5) 原稿受理年月日

原稿の受理年月日は, 各委員が原稿を受取った後, 原稿を編集委員で承認した日とする。

6) 版下の確認

著者で印刷物の刷り上がりの確認を行う。ただし, 文書及び図表データ等の校正はできないものとする。